国際金融論Ⅰ

科目ナンバリング　MOF-301
選択　　2単位

宿輪　純一

1. 授業の概要（ねらい）
＜就職活動に役立つ「国際金融」を中心とした現在の経済・金融の知識を身に着ける＞

① 学生が「日本経済新聞」の主要な記事の内容・意見をプレゼンテーション・ディスカッションし、
小職が分かり易く追加解説することによって、経済・金融・経営分野の実践的な知識を身に付ける。
その後、小職が理論的な解説を加える。

② 学生が「テキスト」を順番に輪読し、小職が追加解説することによって、理論的な知識を身に付ける。

③ フィールドワーク（校外活動）として、小職が15年行っている「社会貢献公開講義」への参加し（希望制）、
社会人と交流を深め、就職力を強化する。

海外勤務も含めた27年のメガバンク勤務や当局の審議会で得た「金融全般の知識」も出来る限り、
分かりやすく供与したい。
この実践的な知識習得と能力向上のプロセスは、面接官をしていた小職からみても、就職活動に役立つことは
確信している。　＜ 博士（経済学）・エコノミスト・元三菱UFJ銀行(27年勤務)＞

2. 授業の到達目標
就職活動に役に立つ「国際金融」を始めとした経済・金融の知識を身に付けること。
「日本経済新聞」を理解できること。
「テキスト」の内容を身につけること。

3. 成績評価の方法および基準
出席・試験・小レポート等による評価。

4. 教科書・参考文献
教科書
宿輪純一　『通貨経済学入門（第2版）』　日本経済新聞出版社
宿輪純一　『決済インフラ入門［2020年版］』　東洋経済新報社
参考文献
宿輪純一・藤巻健史　『円安VS円高（新版）』　東洋経済新報社
宿輪純一　『アジア金融システムの経済学』　日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容
日本経済新聞の毎日の読み。テキスト及び参考文献の読み進み。

6. その他履修上の注意事項
講義への出席とまじめな受講態度。

7. 授業内容

【第1回】	イントロダクション
【第2回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第3回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第4回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第5回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第6回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第7回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第8回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第9回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第10回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）
【第11回】	①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事） ②経済情勢の解説（2テーマ） ③テキストの輪読（5ページ）

【第12回】　①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事）
②経済情勢の解説（2テーマ）
③テキストの輪読（5ページ）

【第13回】　①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事）
②経済情勢の解説（2テーマ）
③テキストの輪読（5ページ）

【第14回】　①当日の日本経済新聞の記事の発表・解説（2記事）
②経済情勢の解説（2テーマ）
③テキストの輪読（5ページ）

【第15回】　まとめと試験